8-6
No.0-3

GAa1／1
8－6－0－3

昭和三十五年三月

昭和三十四年下半期（七月―十二月）

生活技術指導状況報告

労働省婦人少年局

女性と仕事の未来館
館内
0096331 3

モデル地区における労働者家庭生活向上のための技術指導計画実施要領

一　趣旨

労働者が十分な生活活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上がのぞまれるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行うものとする。

二　実施対象

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

三　実施方法

労働省婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助員を送任し、婦人少年室を通じて左の方法によって指導を行うものとする。

1　懇談会の開催

婦人少年室長は専任協助員とともにこの問題についての関心をたかめるため　労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

2　専任協助員による技術指導

専任協助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行うものとする。

3　連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員として置くよう勧奨する。

四　指導内容

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等、家庭生活に含まれる諸項目に関し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行うものとする。

五　実施の時期

昭和三十三年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し　爾後継続的に技術指導を行うものとする。

生活技術指導のための.モデル地区一覧

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について 世帯数	対象世帯について 平均家族数	集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金 平均	モデル地区労働者の月収賃金 最高	モデル地区労働者の月収賃金 最低	主婦会家族組合 有無	主婦会家族組合 加入状況	室からの所要時間	専任改善員氏名
北海道	住友金属鉱山(株) 余市鉱業所	574人	309	4.7人	有	既)27.303 新)23.130 臨)14.494	50.004 35.444 20.076	13.232 14.196 7.955	なし		230分	佐々木 喜久恵
青森	弘南バス株式会社	942	41	4.4	なし	22.600	35.250	10.100	なし		90	川島 ミサ
岩手	東北電気製鉄 和賀川工場	767	48	4.1	有	21.666	31.500	8.917	なし		150	増田 せい
宮城	東北金属工業株式会社	815	50	5.0	有	16.000	40.000	12.000	有	全員加入	不明	坪内 みさを
秋田	秋田木材株式会社	796	71	4.0	なし	11.430	16.000	7.500	なし		120	長内 忍
山形	日東金属鉱山 蔵王鉱業所	413	122	3.5	有	22.700	43.000	8.000	有	全員加入	120	高橋 政子
福島	日東紡績(株) 富久山工場	1.471	154	3.9	有	32.000	98.000	19.000	〃	〃	90	作間 フミ
茨城	日立製作所 日立工場	5.858	279	4.9	有	25.000	46.000	17.000	〃	〃	80	石垣 美根
栃木	高崎製紙(株) 日光工場	820	110	3.5	有	19.000	40.000	15.000	なし		30	阿久津 愛喜
群馬	白石工業(株) 白鷺亜工場	257	40	4.0	有	18.000	32.000	12.000	〃		120	細谷 文江
埼玉	日本ピストンリング(株) 与野工場	488	83	3.5	有	22.028	43.650	6.700	〃		30	松原 一枝

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について 世帯数	対象世帯について 平均家族数	集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金 平均	モデル地区労働者の月収賃金 最高	モデル地区労働者の月収賃金 最低	主婦会家族組合 有無	主婦会家族組合 加入状況	室からの所要時間	専任協助員氏名
千葉	川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	6.853	27	5.0	有	44.000	70.000	25.500	有	加入(6人)	15	鈴木勝子
〃	北越製紙(株) 市川工場	489	26	4.3	〃	29.000	48.000	17.000	なし		60	〃
東京	東部製鋼(株) 東京製鋼所	1.175	232	3.6	〃	29.000	45.000	18.000	有	不明	45	阪浦暢子
神奈川	日平産業株式会社	700	98	3.5	なし	不明	50.000	22.000	〃	全員加入	50	彦田露子
新浮	(株)新浮製鋼所 新浮支社	3.568	74	5.0	有	19.780	23.830	11.330	なし		30	西田はつ子
富山	不二越鋼材工業株式会社	4.051	54	3.0	〃	21.444	62.740	7.960	〃		30	堀内むら
石川	(株) 石川製作所森本工場	650	100	4.0	〃	不明	不明	不明	〃		20	藤田友枝
福井	信越化学 武生工場	550	48	3.4	なし	23.500	44.600	15.000	〃		65	山口妙子
山梨	日本電化工業(株)日下部工場	190	29	3.6	〃	不明	不明	不明	〃		60	志村花子
長野	株式会社前田鉄工所	不明	50	3.5	有	25.000	38.000	21.000	〃	全員加入	30	倉島日露子
岐阜	選定中											花岡ふさ子

県名	事業所長	従業員数	対象世帯について 世帯数	対象世帯について 平均家族数	集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金 平均	モデル地区労働者の月収賃金 最高	モデル地区労働者の月収賃金 最低	主婦会家族組合 有無	主婦会家族組合 加入状況	室からの所要時間	専任協助員氏名
静岡	本州製紙 岩渕工場	261	74	4.8	なし	22.000	68.270	8.641	有	全員加入	65	望月きく江
愛知	大同毛織(株) 稲沢工場	692	92	4.3	有	27.780	64.000	14.156	〃	加入(87人)	50	長田久美子
三重	東亜紡織 泊工場	970	50	5.0	〃	25.733	41.700	15.849	なし		55	昌田みえ
滋賀	東洋レーヨン 滋賀工場	5.726	97	2.5	〃	18.000	20.000	15.000	有	全員加入	30	仙頭利子
京都	三菱製紙(株) 京都工場	400	57	2.6	〃	51.705	102.300	19.429	なし		40	林田昌美
大阪	茨木 才一府営住宅		100	4.0	〃	17.000	40.000	9.000	有	全員加入	65	浦野住江
兵庫	小泉製麻株式会社	2.600	316	2.8	〃	26.720	65.500	12.000	〃	〃	30	花野正代
奈良	日本アスベスト王寺工場	328	120	3.0	〃	I) 16.800 II) 29.300	65.200 68.100	7.151 10.270	不明		50	藤沢光子
和歌山	大和紡績 松原工場	586	76	4.5	〃	23.100	56.000	15.171	なし		120	岡本かほる
鳥取	国鉄米子管理局鳥取駅	740	25	4.3	〃	18.000	30.000	13.000	有	加入(13人)	25	荻野春子
島根	才一エム紡織製作所穴道工場	1.075	108	4.3	〃	I) 22.521 II) 26.246	30.119 38.864	11.907 15.750	なし		45	押田芳枝
岡山	倉敷紡績 四日市工場	440	40	4.0	〃	20.750	28.076	11.098	有	全員加入	30	岩崎美弥子
広島	三菱造船(株) 広島造船所	5.332	45	3.6	〃	35.000	70.000	6.000	〃	不明	30	中村文江

県名	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金			主婦会家族組合		室からの所要時間	専任協助員氏名
			世帯数	平均家族数		平均	最高	最低	有無	加入状況		
山口	桜山炭鉱株式会社	680	300	4.2	有	20.000	34.000	9.000	有	全員加入	90	山田佐喜子
徳島	東亜合成化学工業(株) 徳島工場	277	57	4	なし	23.600	35.000	19.000	なし		20	稲田洋子
香川												川村秀子
愛媛	井関農機株式会社	1.058	48	3.3	なし	25.000	34.000	16.000	〃		10	和田又工
高知	白石工業(株) 土佐工場	204	47	3.0	有	16.000	24.000	10.000	有	不明	120	三本のぶ子
福岡	麻生産業 麻生鉱業所	500	500	6.0	〃	20.000	30.000	12.000	〃	加入(420人)	160	裏辻敦子
佐賀	杵島炭坑(株) 杵島鉱業所	4.600	3.600	3.6	〃	29.076	59.076	9.091	〃	全員加入	124	服部テル子
長崎	深江炭砿 (株)三浦砿	65	22	5.0	〃	13.000	17.000	11.000	〃	〃	180	井手美須恵
熊本	中央紡績株式会社	556	39	4.0	〃	不明	25.000	12.000	なし		50	成松ツヤ子
大分	日本鉱業佐賀関製錬所	1.900	1.663	不明	〃	18.405	78.045	9.000	有	加入(975人)	90	石井美裕子
宮崎	旭化成 延岡工場	15.000	47	4.0	〃	23.805	40.155	13.460	〃	不明	不明	押川順子
鹿児島	国鉄西鹿児島工場	1.153	93	5.0	〃	27.600	29.700	23.400	〃	全員加入	22	岡さよ

北海道婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
七月十五日	消費生活の合理化及家計の構成（講義） 1、物の価値 2、上手な買物 3、予算の立て方	三十名	
八月二十一日	栄養料理の実習	四十名	
十月十六日	九月の講義及び十月の料理実習を併せ行う。 1、食生活の改善 2、食生活の影響 3、強化食品 料理実習	二十五名	
十月二十日	各栄養素の作用及び調理化学について（講義）	二十五名	

十二月三日	1. 子供のしつけについて。（講義） 。どのように育てればよいか 。子供の特性 。正常な好ましい育て方をするためには、 2. 今迄の講義内容についての質疑応答	二十名

青森婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
七月十日	家庭料理の実習 。料理の実習・試食 。栄養の問題についての講義	十八名	
八月十日	子供のお八つの作り方。 。プランマンジェ・カップケーキの実習試	二十名	婦人少年室長

	食 子供のしつけ方について ○栄養と子供のしつけ方について室長講話 後懇談		
九月二十九日	夏物衣類の整理について ○夏物衣類の整理について ○繊維と洗剤について講義 ○洗濯の仕方について繊維別に実習 家庭料理の実習 ○炸烹奥、ジャムの作り方、実習試食	十八名	婦人少年室長
十月二十九日	上っぱり兼用の羽織の裁ち方と縫い方 ○裁ち方と縫い方を実物を提示しながら説明。尚更生についても実習 家庭料理講習		

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	○鰯の山家揚げを講習		
十一月二十日	ぬいぐるみ人形の実習 ○会員の希望により、縫いぐるみの動物（象、うさぎ）を材料を持ちよって実習 ○明るい雰囲気を出すための部屋の整理のしかた等について	十八名	
十二月十五日	家庭料理の実習 ○にぎり寿司の作り方を会員が講義、皆で実習試食 ○いかの吉野たき、ミキストサラド実習試食 ○労働者家族の福祉についての諸問題について室長講話	二十六名	婦人少年室長

岩手婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
七月二十一日	料理講習 会員四組に分かれ、それぞれ得意とする料理を作った後材料、作り方等発表し、料理法、栄養価などの問題について話し合った。 第一グループ（副食） 第二グループ（おつまみ） 第三グループ（冷麦めん） 第四グループ（おやつ）	三十四名	
九月二日	料理講習（肉料理）	三十九名	

	(1) アメリカ風のハヤシビーフ (2) 豚肉とキャベツのからしあえ (3) 珍珠丸子		
十月五日	社会見学 (1) 岩手婦人少年室訪問 (2) 結核児童収容施設みちのく緑学園（事務長より説明聴取後見学し、空箱端布等児童の工作材料を贈った。） (3) NHK盛岡放送局 (4) 盛岡電話局 (5) 盛岡地方裁判所公判見学 (6) 岩手日報社	五十四名	。モデル地区生活技術指導開始後二ヶ月頃より会員の話し合いで社会見学の為積立貯金を継続したもので、貸切バスで一日見学を行った。婦人少年室職員も参加
十月二十日	座談会（社会見学反省会） 見学旅行について話し合うとともにモデ	二十六名	

ル地区生活技術研究の会合を十二月で終了してしまうのは残念なので、なんとか婦人会にまで発展させたいという希望が大多数であった。婦人が組織の中で自分達を育てゝ行くことの是非必要なことを語り合った。			
十月十日	お盆立（お茶）	二十五名	
十月十八日	菓子作りと肉講式 （クリスマスデコレーションケーキの実習をしたのち肉講式を行った。） 肉講式 1、室長あいさつ 2、専任協助員あいさつ 3、モデル地区主婦のリーダー謝辞	四十六名	。デコレーションケーキの作り方指導、島英子（岩手婦人少年室婦人向題相談員） 岩手婦人少年室長、 モデル地区専任協助員 工場長

4. 工場長の謝辞 お別れ茶話会（謝恩会）	

宮城婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
六月二十六日	懇談会 本省、石井事務官来仙の機会に連絡員勤労課長などと懇談会をもつた。	十一名	
七月二十四日	レクリエーションをかね社会見学 貸切りバスで松島ヘルスセンターを見学	六十四名	
八月十七日	講演会 夏休みの子供会の運営の仕方を中心に子供のしつけ、子供の心理などについての講演	四十七名	講師、県児童福祉司 鈴木道太氏

九月三十日	十月家事歴 夏物の整理、冬を迎える準備等、	三十一名
十月十二日	懇談会 日常の生活、子供達のこと、などについて懇談	二十三名
十一月六日	漬け物 いろいろの漬け物の漬け方、塩など材料の分量などの講習	三十八名
十二月八日	反省会 一年を返りみて勉強のたりなかった点、来年度の希望なども出て、有意義な反省会であった。	三十名

秋田婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
八月	一、映写による指導 ① 国際連合の事業を説明したもの。国連加入国の社会福祉施設、保護施設、婦人の副業問題など紹介しながら、各国の向上を図る計画を進めて行く実態をうつしたもの、 ② 北アイルランドの農業、工業の振興状態と婦人の活動を示したものなど 二、話し合い ① 共稼ぎで多忙な私達は、子供や家族と語り合う時間を、どんな機会にもつたらよいか。	十八名	

②母親達は、勉強する機会が、少ないがそれをどうしていったらよいか。 ③多忙な中からのレクリエーション、休日の利用方法について ④中学を卒業して進学、就職する子供に対するしづかいについて	十月 前専任協助員の退職に伴ない、新専任協助員長内氏が発令になり、新旧専任協助員の引継ぎ。各班の代表者を集めて連絡係などを決め、今後の指導計画について打合せ会をした。	十一月 食生活の改善 (1)栄養指導 。栄養学の基礎について。主な食物の栄養素、一日のカロリー、食生活の改善(栄養
		八名
		十一月の集会日は能代商業高校の割烹室で行なった。

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	）について、 ②料理実習 ・栄養料理 三色御飯、野菜の甘酢煮		
十二月	一、幼児のおやつについて ①おやつの必要性、与え方、注意等について、 ②おやつの実習 ・ビスケット ・ポテトチップ ・カスタードプリン	十八名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
昭三十一日	○家計のまとめ ―前回の反省― ○幼児の育て方、子どものしつけ ―よい習慣をつけさせるために― （講義と話し合い） 整理袋（手袋、足袋、ハンカチ、……）の活用により自主性を育てる。	二十名	
十月五日	○簡単につくれる作業衣とガウン ―実物をみながら（講義）― ○簡易クリーニング（実習） ズボン、ワイシャツ、セーター	三十名	
十一月十日	○料理実習	二十三名	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	おすし（二種）とおやつ ○これまでの反省 自分達で作った料理の試食をしながら反省懇談会を行った。		

福島婦人少年室関係

七月八日	会議のすゝめ方、	三十二名	公民館主事 熊田武男	
七月二十九日	食生活を語る	三十五名	保健所母子係 大保田きよ子	
八月八日	蚊とハイの駆除の研究	四十一名	役場衛生主任 村越主治	
八月三十日	子供の育て方、躾け方の研究	五十八名	教育大附属高校 横田	

九月六日	家庭バレーボールの実習	二十九名	佐代治	
九月二十六日	時間励行と出席について	三十三名	公民館主事 熊田武男	
十月十日	主人の職場に対する協力と主婦の地位	二十八名		
十月二十四日	母子衛生と妊産婦について	三十四名	役場保健所 石井ケイ	
十一月八日	近所や家を明るくするには、その悩みは	二十六名		
十一月二十八日	モデル教室の小グループを語る	三十一名		
十二月二十日	最近の国際状勢	六十二名	国際平和会理事 小塩完次	

主としてお互いの話し合に重点をおき講演には必ず質問の時間をとる

茨城婦人少年室関係

七月二十二日	一、前回の復習、教育費について	主婦三六	夏休みに備えて子供の

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	2. 夏休み中の子供の生活調査を通して、 3. 教育費の記録の試み、	事業所担 当係長一 室長　一 協助員一 計三十九名	問題に入る。
八月二十五日	前回の復習から出発して 1、子供の生活を見つめて 。健全育成について 。児童心理（前期、後期について） 2、家計簿と教育費について 。小、中、大学の教育費の標準について 。各家庭での教育費の再検討	主婦四二 事業所担 当係長一 室長　一 協助員一 計四十五名	

宿題 新聞、雑誌、ラジオ、週間物の各家庭の経費はどのくらいか 指導方針　講義と話し合い	九月二十五日 ノ、家計簿の中の教養費について 教養費 。新聞、雑誌、週間物、ラジオ、映画等の検討と講義 。話し合い 。一ヶ月の教養費の設計 経費、内容、生活時間 。婦少室で行った主婦の生活質問表の中の〝教養〟関係を参考発表 宿題	主婦四五 事業所担当係長一 室長一 協助員一 計四六名	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	出来るだけ各自の記録をとる。 指導方法　講義と話し合い		
十月二十日	社会見学の実施 。主婦の視野を広めるため 。婦人少年局、新聞社等の見学視察	主婦四六 事業所担当係長　一 室長　一 協助員一	自動車の配車等については会社に協力依頼
		計四十九名	
十一月二十日	1. 家計簿の中の教養費について 。十月実施の東京都社会見学の感想と教養費との関連においての家庭生活の探究 2. 年末賞与と生活設計の関連について	主婦四二 事業所担当係長　一 室長　一 協助員一	

○家計簿の項目「貯蓄」と関連して年末賞与を活かして使うには △相互の話し合い △発表と研究指導	計四十五名	

栃木婦人少年室関係

七月二十日	一、ものゝ考え方について（講義） 二、女子特別衛生について（講義）	二十八名	プリント配布
八月十日	一、夏向きの料理　二点（実習） 二　少年、青年期における心身の特徴と母の接し方（講義）	三十二名	
九月十八日	一、衣生活の改善について（講義） ○スエーデン刺し（実習）	二十二名	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	。軽装帯のつくり方（実習） 二、安価な材料でする料理の工夫（講義）		
十月七日	一、軽装帯と袋物（九月の続き）（実習） 二、食生活の改善について（講義） 三、肉親の愛と精神の愛について（もらい子をした主婦の悩みの相談から）（講義）	二十五名	
十月十日	一、料理の実習　二点（実習） 二、結婚の改善について（講義）	十一名	
十二月十四日	一、新時代の礼法について（講義実習） 二、婦人に関係のある法律について（講義） 三、グループ活動について（話合のもち方）（実習指導）	二十名	室長

郡馬婦人少年室関係

七月八日	○子供の家庭教育向題についての講演及び懇談。 ○伝染病予防についての衛生講話	三十一名	衛生講話については、下仁田町役場衛生係、安藤氏による指導	
八月八日	食生活の改善について ○栄養的調理、食生活の改善について、講演、助言指導	三十二名	講師　郡馬県農業改良課、生活改良専門委員島田まさの氏（この技術指導後、社宅の殆んどが計量器及び計量カップ、スプーン等を購入、合理的な生活に一歩ふみ出した。	
九月二十六日	○婦人の為の法制知識について、資料を基に身近な法律知識について指導	三十一名	講師　室長	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
十月八日	○家計管理について 家計簿のつけ方、家計の管理の仕方、特に年末に近いので「やりくり法」について具体的に指導助言	三十二名	講師、郡馬県農業改良課、生活改良専門委員 島田まさの氏
十月十五日	レクリエーション 大間々町「ながめ遊園地」	三十二名	社宅主婦のレクリエーションは今回が初めて、会社側により諸費用もかなわれる。
十月十八日	○人間関係について 一年間の反省、特に社宅主婦間の人間関係及び家庭内の人間関係をとりあげ、問題点をグループに分かて討議、更に来年度の目標	三十二名	助言指導　室長

埼玉婦人少年室関係

七月十七日	一、夏の衛生について 1. 夏やせとは 2. 栄養と休養、夏の栄養の注意 3. 虫害、病菌の予防 害虫駆除、清浄野菜について 食品用中性洗剤の作用、種類、使い方 二、料理実習、涼しい夏向きの料理	主婦十四名	専任協助員 会費一人十円徴收	を樹立
八月三十一日	一、九月の暮しの計画、秋を迎える衣食住の準備について 二、栄養の話	主婦十八名	専任協助員　婦人向題 相談員 会費一人十円徴收	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
	一、私達はどれだけ栄養をとっているか 二、つりあいのとれた食事内容の割合 三、料理実習 四、質疑応答、懇談		
十月二十七日	見学 一、上尾市東邦レース工場（午前） レース工業と婦人労働の実情見学 二、大宮市住宅公団アパート 新しいアパートの暮し方と設備の見学、アパートの主婦との懇談	主婦十名	室長、専任協助員、婦人向題相談員
十一月十二日	料理実習 一、最近市販されている新しい手軽な製菓材料について	主婦十五名	最終回

	2. 製菓実習 二、懇談 1. 終了について会社、組合の挨拶 2. 室長、専任協助員の指導 3. 主婦の感想発表 三、レクリエーション		

千葉婦人少年室関係

川崎製鉄社宅

七月九日	夏の保存食のつくり方（実習）	二十名	
八月四日	夏休み中の子供のおやつのつくり方（実習）	二十二名	
九月九日	きく寿し、箱寿しの作り方（実習）	二十四名	
十月十三日	住居の整営、くらしの合理化（講義）	十五名	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
十二月十五日	家計簿のつけ方（講義） 一年間の反省（懇談）	十三名	

北越社宅

七月二十一日	ふとんの作り方 ふとん地のしんし張り、綿の入れ方（実習）	二十名	
八月五日	夏休み中の子供のおやつの作り方（実習）	二十二名	
九月十一日	住居の整営、くらしの合理化（講義）	十三名	
十月十二日	きく寿し、箱寿しの作り方（実習）	二十三名	
十二月十四日	家計簿のつけ方（講義） 一年間の反省（懇談）	十三名	

東京婦人少年室関係

肯三十日	「家計簿のつけ方及び家計のやりくり方」 「子供の躾について」 前回に引きつづき家計のつけ方、家計のやりくりについての講義と夏休における子供の扱い方について、質疑応答を行った。	十二名	日本体育短大講師 赤広和子
八月三十六日	「婦人の社会生活」 「子供の躾」 初めての試みとして映画をとり入れた。 「村の婦人学級」「十代の反抗」を約四十分映写し、その後各社宅毎にグループを作り、映画の内容をもとに婦人の社会生活、グループ作り、子供の躾等について話合いと反省の会を持った。	六十五名	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
九月三十一日	「主婦の健康について」 先づ講師より主婦の健康及び疲労回復を治す方法について講義があり、続いて畳の上で手軽るに出来る疲労回復運動の実際指導の講習をうけその後、教育映画「古い靴」「主婦の時間割」を上映、三つのグループに分れ話し合いをした。	二十五名	産業しクリエーション協会理事 安生貞子
十二月二日	「栄養料理」の実習 講師より目方の目分量についての説明が実例に基づいてなされ 次いで料理（糖醋、鯖魚、盆子、豆腐、冷豆茸）の実際の指導がされ、主婦達全員が試食し後、約三十分位一年間の反省をかね話合をした。	七十九名	料理研究家、萩野静子

神奈川婦人少年室関係

七月二十三日	料理 内容、労働者家族の食生活の改善 I 説明 イ、ビタミンを含む食品について ロ、合理的な食事の原型について II 実習 鰯料理 いかと茄子のすみそ 杏仁豆腐（シンニンドウフ）	二十名	島崎はま 婦人向題相談員 （注）専任協助員の事故のため替りに島崎氏が担当。 講師、栄養士、前川喜美子
八月二十九日	懇談会	二十三名	婦人少年室長 彦田専任協助員

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
九月十七日	過去半年間の実施上の反省と今後半年間の希望について懇談した。 尚、今後も料理講習の継続を希望。		
料理 I 説明 1、労働者にとって弁当は大切な栄養源であること。 2 よい弁当と悪い弁当について II 実習 1、秋刀魚のショーが煮 2 秋刀魚のかばやき		二十六名	彦由専任協助員と室職員二名参加 講師 栄養士 前川喜美子

	3. 秋刀魚のしのだ煮	十月三十日 料理 Ⅱ 説明 弁当について Ⅱ 実習 イ. サンドイッチ. ソーセージ、サンドイッチ. サラダ、サンドイッチ. リンゴ、サンドイッチ. 魚のボクル、サンドイッチ	十月三十日 料理 横浜市南地区保健所において「家族一人十
		二十一名	二十名
	彦由専任協助員と室臨 員一名参加 講師、栄養士 前川喜 美子.		彦由専任協助員と室臨 員一名参加

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
十二月十五日	「内料理」展示会を開催したので日平産業も参加し、大いに日頃の腕をふるった。 出品料理 小魚のてんぷらと野菜 うのはな料理 うどんとケチャップあえ	十四名	講師 栄養士 前川喜美子
	料理 I 説明 お正月料理について II 実習 簡単な栄養料理五点		婦人少年室長、彦田専任協助員 講師 栄養士 前川喜美子

七月	○夏の麺類の栄養的な食べ方 料理実習 〃炸醤麺〃	十九名 十六名	午前十時～十二時 午後七時～九時 （仂く主婦の組）	
九月	○男物かえズボンの洗濯（ウール地） 実習 準備から干し方まで	十七名	午前十時～十二時	
十月	○男物ズボンの仕上げの説明 ○ワイシャツの糊づけから仕上 実習 仝右	十六名	午前十時～十二時	
十一月	○スエーターの洗濯について	十八名 十六名	午前十時～十二時 午後七時～九時 （仂く主婦の組）	
	○レバーの栄養について 料理実習 レバー料理			

期日	指導項目及び関係	出席人数	備考
十二月	○御正月料理について実習（半調理して置けるもの）	二十七名	午前十時～十二時

富山婦人少年室関係

五月十三日	一、洗濯の仕方、実習 ◎繊維別の洗濯の仕方と仕上げについて ○洗剤の選び方 ○漂白について ○のりについて ○えり、あかとり等について 二、夏休みのおやつの作り方 ○各種サンドイッチ ○おすし	三十五名	友の会役員 泉　君子氏

	○おにぎり 3.講話 夏季児童対策について 夏休みの注意		専任協助員 堀内むら氏	
九月十日	寝具の手入れ ○三組ふとんの綿入れ実演 ○新らしい合成綿の紹介と説明	九十二名	大和百貨店 呉服部酒井氏	
十月十七日	講演 「団体活動の在り方」 婦人学級について	五十名	県教育委員会 社会教育主事 田村澄子氏	
十月三十一日	母と子の映画の夕 伸び行く富山　友情　山の子海の子他	六十八名	富山市社会教育課 提供	

石川婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
七月十九日	一、料理講習 受験勉強等で頭を使っている子供にすすめたい料理 ①オムレツ ②串団子 ③ギセイ豆腐 二、座談会 「子供と青年期について」	二十一名	③だけは希望者が材料を持って来て実習
八月十六日	一、料理講習 魚のてり焼 さつまいもの醤油煮 中華そば	十五名	

	二スライド映画　座談会 「アメリカや南アジヤせのくらし」について		
九月七日	一料理講習 野菜の信田巻 いかのつけ焼 じやがいものから揚 二座談会 「初老期における主人を対象としての問題」について	十八名	
十月八日	一料理講習 かれいのホワイトソースかけ いかの胡麻やき たまねぎのケチャップあえ 中華そば	二十名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	メモ 大根のゆで方及び煮方 二座談会 「幼児の育て方と子供のしつけ」について		中華そばを一個ずつ持参して実習
十月三十日	一手芸講習 簡単な家庭用品　装飾品の作り方及び実習 二衣服講習 「新らしい着物についての講義及び昔の着物の更生実習	二十三名	
十一月二十日	一料理講習 正月料理の作り方 /重箱 ○菊花揚	二十七名	

福井婦人少年室内係	七月十三日	梅雨期におけるカビについて カビの種類原因処置法について講義 趣味の編物	主婦八名 〃 〃十一名

○いかの松笠煮
○かまぼこ
2洋酒(カクテル・ビール)のつまみ
3鰈のグラタン
4いかとえびの作り
5きんとん
6産銀玉子
二座談会
家計簿について

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
八月五日	ビニール手さげ編講習	主婦十三名	森山婦人問題相談員
〃	〃	〃	専任協助員　出張中
八月十日	〃	〃十六名	〃
九月十四日	〃	〃十五名	専任協助員
九月二十三日	工場見学		森山婦人問題相談員
	合成繊維の扱い方について話を聞く	〃八名	酒伊繊維　織布工場
			精練工場
十月二十八日	やさしい民法の解説	〃七名	
		会社事務員一名	
十二月十四日	クリスマスケーキの実習	主婦十三名	
		会社事務員一名	

山梨婦人少年室関係

八月六日	1. 労働者家族の福祉について 2. 生活技術指導について	十八名	
八月二十三日	1. 生活研究の必要性について 生活時間の設計 2. モデル地区主婦の生活についての調査記入方法説明	二十一名	保科悦子 矢沢昌子 （又）会々員）
十月二十二日	1. 日常の食生活 ○一日の主婦の栄養必要量とその食品構成、それを基準として主人と子供の必要量について 2. マヨネーズソース・フレンチドレッシングの作り方 作る為の容器　使い方　後始末（実習）	二十二名	若宮きよ （友の会々員）

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	3 生野菜の使い方		
十月十九日	1. 限られた収入の中で如何に過すか ○一日の材料の購入の仕方 ○食費の計画について 2. 子供の偏食矯正について 3. 鍋料理の作り方（実習） 寒い冬の食生活	二十二名	苦宮きよ （友の会々員）
十二月十七日	1. 共同購入について 2. アルカリ性食品について 3. 味のつけ方　砂糖の使い方 4. 正月料理 ○簡単で経費のかからない料理 ○スープストックの作り方	二十一名	苦宮きよ （友の会々員）

長野婦人少年室関係

七月二十一日	○料理　サラダ三種　コロッケつけもの ○座談会　労働者の食生活	三十一名	料理講習会に終る事のないよう座談会を加えることにした。
八月二十日	手芸　ビニール細工・果物かご	十八名	指導は外部の講師を依頼
八月十四日	手芸　ビニール細工・ハンドバック	十二名	右に同じ
十月二十日	○料理　さばの船場汁　さんまのてりやき さつまいものあめだき　あじのなん ぼんづけ ○座談会　よい家庭生活について ―人間関係において―	三十二名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
十二月十一日	○お正月料理　二色玉子　日の出美　豆きんとん　ぎせい豆腐　菊花蕪。 ○座談会　今まで実施した生活技術指導等について。	三十五名	

静岡婦人少年室関係

七月十三日		
八　料理実習 (1) 鰺の酢炊き茶粥なす (2) 南瓜なます (3) 小麦まんじゅう (4) アスピックゼリー	三十五名	

十月三十日	2. 講義及び実習 化学繊維の知識と取扱い方 3. 清涼飲料の実習 冷たい飲物の作り方	三十名	日本化学繊維協会 篠原勝彦 被服科学研究会 野沢習恵子
十月九日	1. 料理実習 (1) オムライス (2) 鰯の空揚五色あんかけ (3) ポークビーンズ (4) マカロニサラダ 2. 講義 食品分析表の見方 使い方	四十七名	
十月十四日	1. 料理展示会 参加者の調理作品を展示し審査講評の上 全員に参加賞をおくる。	五十五名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
十月二十八日	2. 料理実習 (1) まぐろの山かけ (2) こんまの南ばん漬 (3) 白菜と油揚くず煮 (4) レバーと玉ねぎのカレー揚げ (5) ドーナッツ	三十五名	
十一月十三日	1. 料理実習 (1) りんごと蓮根のピーナッツ和え (2) 南煎丸子 (3) 烙餅 (4) 中華風むしカステラ 2. 講義 献立のたて方	三十六名	

十二月二日

1. 料理実習
(1) 牛肉朝鮮焼・柿ほます
(2) ぶりの黄金焼　苦竹昆布　扇蓮根
(3) 口取
りんごきんとん
紅花卵
日の出みかん

三　十二名

十二月十六日

2. 料理実習
(1) 鶏の巣籠焼（アルミ箔焼）
(2) 肉よせ卵
(3) おめでとうきんとん
(4) 田作り
(5) 木目美

3. 講義

期日	指導項目及び内容	出席者数
	衣食住暮しのまとめ	

愛知婦人少年室関係

六月八日	「母と子の問題について」 幼児の扱い方　中・高校生の扱い その他　小遣いの与え方等	三十名
七月三日	料理実習 ○　主食　パン ○　ミネストラスープ ○　スコッチ　エッグ ○　コールスローサラダ ○　アイスクリーム　ゼリー	四十二名

三重婦人少年室関係

九月十一日	「食生活の栄養と経済」 ○ 一人一日の栄養の必要量 ○ 一人一日いくらあつたらよいか	三十名	
十一月二十日	「来年度の予算生活のために」 ○ 家計簿について ○ 年間を通しての予算の立て方	十七名	
十二月四日	(一) 料理実習 支那まんじゅう (二) 予算のたて方	三十八名	
七月	○ 夏期における子供の生活指導 心身ともにたくましい夏期の子供の生	婦人三十名	専任協助員 島田みゑ

期日	指導項目及び内容	出席者数	講師
	活指導 ○ アップガン編み 釣針で短時間に簡単に編める編み方を指導し余暇時間の多い主婦の生活を有効にしうるおいを持たせる。	関係者三名	編物クラブ委員 建部貞子
九月	人間関係について 家庭内の和合をはかるため夫婦親子の日常生活の諸問題を話し合い豊な生活を考えさせる。	主婦十五名 関係者三名	婦人少年室婦人問題相談員 今村房
十月	労災保険について 一家の生計中心者が病気にかかった場合に十分に療養が出来、かつ家族の最低生活が保障される労災保険法の内容を知らせる。	主婦二十名 関係者三名	三重労働基準局労災保険課長 稲垣義金

十一月	見学　津地方裁判所四日市支部 裁判所の実情を見学する。	主婦　十名 関係者　二名		
十二月	正月料理 会員の希望する正月料理を指導し　お正月を楽しくする。	主婦二十七名 関係者　三名	四日市市教育委員会 学校教育課 三輪　みち子	

滋賀婦人少年室関係

七月十六日	「夏向きのおやつ」　フレンチトースト　バターつけ芋・黒豆シロップ　フルーツサラダ　カルピスゼリー等を実習　試食	十九名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
九月十七日	「お月見料理」 お供え・型押ごはん 食後のおやつ。 講義の後 五つのグループに別れ 自宅に持ち帰り実習を行い 出来上つたものを持ちより会食した。	十三名	九月二十五日 今後の希望についてアンケートをとる。
十月十五日	「今夜のお惣菜」 サンマのスープ 講習の後先にとつたアンケートについて検討し、今後の方針について話合いを行つた。	十二名	
十月十九日	料理講習日……「支那料理」醋溜魚片(ツウリユウイピエン) ピーナッツクリーム 座談会……テーマ「子供の教育問題について」	十三名	
十二月十七日	講習……前菜の一例「好汁白菜」 家計簿のつけ方について	十三名	今後家政グループをつくるよう奨めた。

京都婦人少年室関係

八月二十日	○料理講習会 日常惣菜料理と弁当 六種の作り方を演示	十二名	
十月五日	○料理講習会 魚と野菜の料理五種の作り方演示 ○食品の摂取必要量其他栄養の話	十一名	

大阪婦人少年室関係

七月二日	一家庭教育について (座談会体験発表を中心にして) ○幼児時代の躾 ○純潔教育	三十五名	出席協助員の外の参加者 道倉協助員(茨木出) 川阪〃(〃) 山根〃(〃)

期日	指導項目及内容	出席者数	備考
八月三日	。青少年期の心理 —自殺の問題について—		
	食生活を豊かにする為に 。新しい暮しを築く為には （講義） 。夏の栄養のとり方 （講義）	五十名	指導 新しい暮しを作る協会 ベターホームプロダクツ 講師　細多祐子氏 栄養士　浅田眞理子氏 小坂協助員
	料理実習 。さつま芋のプラッシー煮 。ドライカレー 。キャベツ巻き		

九月二十二日	食生活を豊かにする為に 。夏負けの恢復と料理の工夫のしかた （講義） 料理実習 。鰯の酢醤油煮 。釜ずし 。レバーのソース煮	十月三十日
四十五名		三十七名
指導 新しい暮しを作る協会 ベター・ホーム、プロダクツ 講師　小森アキ氏 〃　田中京子氏 栄養士　武田眞理子氏 道倉協助員		指導 新しい暮しを作る協会 ベター、ホーム、プロダクツ 講師　細田祐子氏 栄養士　武田眞理子氏 山根協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	テレビ番組に望むこと（座談会）		NHK事業部
十月三日	食生活を豊かにする為に 。冬の健康的な食事について（講義） 料理実習 。かきのかぶらむし　。クラブ・サンドイッチ 。ボルシチ（ロシアのスープ）	三十五名	指導 新しい暮しを作る協会 ベター・チャーム・プロダクツ 講師　林　氏 栄養士　武田眞理子氏 道倉協助員
十月廿日	食生活を豊かにする為に 。正月料理の栄養価（講義） 料理実習 。梅花ソーセージ 。鶏卵。きんとん。田作り　。若竹ほうれん草 。亀甲椎茸、　。博多押かぶ	四十五名	指導 新しい暮しを作る協会 ベターホーム・プロダクツ 講師　永山布比子氏 栄養士　武田眞理子氏 道倉協助員
十月廿三日	今年の家計簿について	三十名	

	兵庫婦人少年室関係		
	七月一日 五日	講義 寝具の手入 ○布団の大きさ　○綿の目方　○子供物について　○手入について　○ ○洗濯の回数 料理実習 ○冷拌麺　○レバーカツレツ　○カスタードゼリー	十月七日 二十一日　講義
		二十三名 三十四名	十八名 二十八名

（座談会、本年一月に当室で配布した家計簡一　貯蓄増強中央委員会のもの一を中心に批判、比較その他について）

期日	指導項目及内容	出席者数	備考
十月十日 十八日	備食衛生について ○子供の発育に影響 ○原因を確める ○後に適正な方法を取る 料理実習 ○鯖のムニエル ○マカロニグラタン ○グレープゼリー	二十二名 二十一名	
十月十七日	講義 家事に追われず暮す工夫 料理実習 ○炊きおこわ ○茶わんむし ○筑前煮 終了懇談会（校長、教務課長、第一部会長、第二部会長、学生厚生部員） 懇談（今までの実習に対する反省と希望 並に要望）	三十名	

九月十三日	○洗濯について 洗剤の分類、洗剤の分量、正しい糊の付方、手入、アイロン ○家族会についての話し合い	十二名	
十月八日	○支那料理 宮保鶏丁、四喜丸子、鍋塌豆腐	十二名	
十月五日	見学と受講 ○受講 講演、家事と家計について　花野氏 実習　料理　レヨークリーム　ロールカステラ　洗濯　ワイシャツの糊付けとアイロンかけ 発表、……家計について・女子と家庭……教育費の高騰家計……衣服費の繰廻し・支払量の上手な使ひ方 ○見学 展示物	六名	奈良友の会 研究発表会の見学 場所 奈良市登大路 於婦人会館

期日	指導項目とその内容	出席者数	備考
	衣服の特数　成人一人一日の食品 贈答用品（手造りによる） その他家事家計に関する資料 友愛セール 小劇（友の会員による）		

和歌山婦人少年室関係

七月二十日	子供のしつけ　子供の絵の導き方	三十名	スライドによって説明
八月七日	レクリエーション（子供と母の海水浴）	八十名	
九月十五日	映画鑑賞	三十名	
十月七日	衣服（冬物の綿の入れ方）	四十一名	
十一月十日	座談会（社宅生活をよくするために）	三十三名	会社への要望

十二月十五日	講演と懇談会	四十名	婦人少年室長

鳥取婦人少年室関係

七月七日	いけばなの指導	七名	婦人問題相談員
七月十日	生活技術指導についての談話会 （調理　いけ花等の指導に対する反省要望等） 。夏季の栄養について 。くらしのいけ花について	十九名	専任協助員 婦人問題相談員
七月二十二日	いけばなの指導	九名	〃
八月三日	いけばなの指導	九名	〃
八月二十四日	いけばなの指導	八名	〃
九月七日	いけばなの指導	七名	〃
九月二十三日	いけばなの指導	七名	〃

島根婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備備
十月五日	いけばなの指導	八名	
十九日	いけばなの指導	七名	
十一月二日	いけばなの指導		
十六日	いけばなの指導（文化祭、花展開催）	八名	
十二月七日	いけばなの指導	九名	
二十八日	いけばなの指導（正月花生込）	七名	
七月九日	反省会	四十六名	今までの生活技術指導

八月十九日	座談会	二十六名	かえりみて懇談会 生活技術指導内容の希望を聞く会
九月十日	講演 乳幼児の病気とその手当について	二十九名	講師 医学博士　清野一雄
十月二十日	講話 食品の蛋白質について	五十名	
十一月二十五日	講話 家計について	三十一名	家計簿の提出を求め専任協助員が批評
十一月十六日	料理実習 お正月料理	三十二名	専任協助員に助手及び会々員を随行

広島婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
六月六日	惣菜向き料理 日常の惣菜用として、利用される料理の実演	五十名	
七月一日	惣菜向き料理 前回と仝様	七十名	
七月十二日	ふとんの見積り方 プリントにより説明	五十名	
九月八日	栄養調節について (1)スライド映画による説明 (2)質疑応答	三十五名	西保健所係員担当
十月二日	運動会用のお弁当について (1)おすしの作り方二種		

(2)お弁当用副食の作り方四種 (3)お菓子 説明及び実演		

山口婦人少年室関係

七月二十九日	料理実習 エビピラフ、南瓜そぼろ、あんかけ、あじの甘酢 魚の三色巻、コカロニサラダ、レバーのカレ焼き	三十一名	
八月三日	家計について 講義 予算のたて方 家計簿のつけ方	十二名	
八月二十一日	料理実習	二十七名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	胡瓜の紅味噌和、炸揚魚片、にしき野菜 れんこんつくね場		
十月三日	和裁々方講義 茶羽織、ウール地、長着裁方 簡単な和服用トッパー	十八名	
十月二十八日	料理実習 さんまのマリネ、白菜巻 鮟のまつかさ揚、焼そば	三十名	
十一月三十日	料理実習 かき丼 すぶた 一口オムレツ 冬の栄養のとり方簡単な注意	三十名	

徳島婦人少年室関係

十月十日	食生活についての研究	四〇	但しモデル地区に決定する前の指導講習会

注　この講習会以後にモデル地区と決定したので、実際にモデル地区として活動するのは昭和三十五年一月からである。

愛媛婦人少年室関係

七月三日	一、料理実習（各自） ○鯵の小川巻き　○鯵の磯辺揚げ ○ポテトサラダ 二、講義 ○やさしい栄養の知識―その二 （前月につづく）	グループ員四十名 会社一名 室一名	プリント作成

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
八月三十日	一　料理実習（全員） ―夏野菜を利用して― 。なすの肉詰め揚げ 。さんど豆の酢味噌和え 。かぼちゃの詰め物 二　講義 。御飯のたき方 。味噌汁のつくり方 。香の物のきり方 重点・米の見分け方、分量　洗い方等について基本的なことを話し、今までの習慣から考えてする態度をつくる	グループ員 四十名 会社一名 室　一名	

九月二十六日	一、料理実習（全員） ―秋祭りをたのしむ料理― ○フーカデン ○里いもの煮付け ○さばの菊花揚げ 重点　盛り付けの心得……切り方各種 揚げ物のコツ……油の性質 二、講義 食教育の仕方 特に子供にテーブル作法を	グループ員 三十五名 会社 室 二名	プリント 室長 平田文子
十月二十七日	一、料理実習（全員） ―季節の料理― ○さんまのごぼう巻き ○ソーセージの変り揚げ	グループ員 三十二名 会社 室 二名	プリント

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○中華風さつまいも料理 室長　油のつかい方 二　懇談 ○メートル法にはなれましたか ○料理と計量 計量器 手ばかり　目ばかり		室長 平田文子
十月二十五日	一　実習（全員） ―冬をたのしく― ○ほうこう鍋の作り方 二　講義 鍋料理のいろいろ……質問にこたえて	グループ員 三十名 会社 室 二名	プリント
十月十四日	一　公開指導―実習	グループ員	全員にプリント

	○油あげの包み揚げ ○前菜（うずらの巣ごもり） ○菊花酢のもの 重点　調味料の使い方 砂糖、醤油、酢、塩の味つけと相互の関係 二　講義 正月料理の今昔 お餅のたべ方と栄養	二十八名 全工場社宅主婦 三名 町内一般主婦 五名 会社 室　二名	室長 平田文子
七月二十日	高知婦人少年室関係 「夏期衛生について」 夏期にかかりやすい赤痢、日本脳炎の症状	二十四名	講師 須崎保健所保健婦長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	予防等についての講演、質疑応答の後、スライド「僕は人間さまの番人」を上映し夏期衛生実践の必要性の認識を深めた。		間島政子 吾桑地区駐在保健婦 山崎幸子
八月十五日	「幼児と児童の夏の生活指導について」 夏休みも二十日を数えその間母親たちはこのテーマについて多くの問題をもっていたので、先づそれらを出しあい、お互いに意見の交換をしながら指導を行った。	二十八名	助言者 吾桑小学校長 永田敏彦
九月十九日	「家庭経済を豊かにするために」 家庭生活の目標、家庭経済の考え方等について講演を行い、家庭経済に対する主婦の役割を認識するように指導	二十三名	講師 須崎農業改良普及所 生活指導員 奥代節子
十月二十四日	「家計簿の記入について」	二十八名	講師

	前回に引続き家庭経済を豊かにするために家計簿記入の必要性を説き、プリントした家計簿の用紙を配布して記入の仕方　支出の科目の分け方等について実地指導		
十一月十四日	「栄養について」 1、五大栄養素について 2、六つの基礎食品について 3、酸性アルカリ性食品とは 4、バランスのとれた食事について 以上を図表やパンフレットを示しながら講演 質疑応答	二十一名	須崎保健所栄養士 植田花枝
十二月十日	一ヶ年の生活技術指導の成果と反省 1、始めて得た勉強の機会であり興味を持って出席出来た。	二十六名	

右　同

新しい年の家計簿三十冊の協同購入の希望があった。

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2 あれもこれも勉強したいと思っている内に一年があまりにも早くたったような気がする。 3 その折々の適切なテーマをとらえて頂いて有難かった。 4 もっと多くの出席者があればよかったと思う。 5 一日の内たった二時間の時間なのに出席しにくい人が多い。生活の仕方が下手なのだろうか。 以上話しあいの後、今後家政グループをつくってお互に勉強を続けるよう啓発した。		

福岡婦人少年室関係

七月二十日	一、本年後半のスケジュールについて説明 （実施計画表から） 二、全炭婦家計簿コンクール提出後の感想発表にもとずいて ○家計簿をみせ合う態度をもっと育てよう 三、家計簿の上からみて、食生活の改善上問題になることについて ○きりつめても限度がある給料生活者は、生産への働きかけを考えてゆこう。 例えば家庭菜園の充実　協同加工等 ○主食の米を多くとりすぎることを検討しよう。 ○カルシユウムをもっととってゆこう。	二十五名

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	カルシュウムを含む食品の研究（牛乳、かきのから、小魚の骨など） 四、季節のこんだて ○じゃがいもと玉葱のすいとん 五、夏休みと子供の食生活について ○学校給食がないので、お母さんの方はよほど気を使わないと、子供はお腹をすかして間食を多くねだるようになり、体重もへってくる。おやつは買って来て食べさせるよりもお母さんの手作りを子供は喜ぶ。おやつを研究してみよう。 コーンスターチの利用		四は それぞれの家庭で作ってみて家庭の反響を次の会に持ちよることをきめた。 五は 各自の研究発表を次の会で行うことをきめた

しゃがいもの活用等	八月十九日 一、はなしあい学習 ○家計簿と家庭の協力 ○家計に対する考え方の成長 ○食生活の改善 ○おやつの研究 ○子供とこづかい ○坑内のべんとう	三十五名	NHK福岡放送局オ一放送、婦人の時間「家計簿を勉強する主婦たち」に採録のため指導項目を変更して"はなしあい学習"とした。専任協助員が司会放送は八月二十一日右一時四十五分から行なわれた。
	八月二十八日 一、衣服生活の実際について検討しあう ○月賦に追われてはいないか ○ふとん類の計画はたてられているか ○衣がえの季節を年間予定のなかで考えているか ○みえをはってはいないか	二十名	資料配付

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○新しい繊維を研究もせずにとりいれていないか ○洗剤を研究して使っているか ○衣服費に廻すために、おかず代をけづってはいないか ○ふとん綿入れなどの共同作業はできないものだろうか ○被服費の費目は何と何をいれるべきか ○衣服費と食費の割合が生計費のなかでどうなっているか 二、全炭婦家計簿コンクール審査評にもとづいて ○副食費をふやすよりもっと研究しよう。		二、提出の際の手違いから入選洩れとなったが本地区からの提出者は

佐賀婦人少年室関係

生活技術指導は、杵島炭坑企業整備反対斗争にあい、実施困難な情態となり中断のやむ

	実支出をつけよう ○みかけのいい家計簿を作らないこと ○子供ひとりの教育にどれだけかかるかを もっと考えてみよう。		すべて真剣にとり組んでいると賞讃された。
十二月三日	一、終了にあたって一年間の反省 二、新しい年を迎える準備 ○家計簿の新年度予算設計 ○お正月の虚礼廃止 ○幸福なくらしへむかって ○婦人学級への移行	三十名	全炭婦の全国協議会長山内鉱労組書記が列席した。 席上、一年間の効果が非常に大きかったと感謝された

なさに至った。

長崎婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
六月二十五日	栄養知識について（図表により説明） ―労働と栄養について― ○何故私達は栄養について知らなければならないか。 ○食物と人体との関係（運動と熱量との関係）	二十一名	生活改良普及員 河野　保子
七月二十日	料理実習 ―肉体の消耗はげしい夏季は特にカロリーの高い材料をつかって― ○ライスカレー	二十一名	デモンストレーションによる指導

	○春雨のさんばい酢 ○焼そば	八月吾	
	手芸実習 —レース編袋物—	八月二十日	二十一名
	初期の計画では冷い飲物の作り方になっていたが、会員の熱望により手芸に変更。賃金のうち物品購入券による支払額増加に伴い主婦の中に内職希望者が激増したためその一助にともレース編をとりあげた	二十一名	生活改良普及員 河野　保子
	栄養知識について（図表により説明） —食品の栄養値について— ○私達がなにげなく食べている食品は大つのかたまりに分けることが出来る。 1.緑や黄の濃い野菜　2.その他の野菜と果物 3.肉、魚、卵、大豆　4.穀類、いも類	九月二十八日	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	5 油類　6 海そう、小魚、乳類 ○右の六つの食品のかたまりはどんな栄養成分が含まれてどんな働きをするものか。		
十月二十四日	料理実習 ―秋季に多いさつま芋を材料として― ○りんかけいも　○めりんとう ○粉ふきいも	二十一名	デモンストレーションによる指導
十一月三日	栄養知識について ―坑内で働く主人、発育盛りの子供のための栄養について― 1、子供の食事と坑内で重労働する者の食事についての問題点について 2、重労働する主人には成人男子の一日必要	二十一名	生活改良普及員 河野　保子

量を標準に全体的に量を増さねばならない。しかし米、麦等にかたよって増やしてはいけない。 一日必要量の説明 3 子供は一生の体をつくりあげる大切な時期なので特に発育に必要なたんぱく質、カルシウム等をとらせるよう気をつける。 乳類、卵も欠かさぬように 夜、睡眠前に消化の悪いものを与えるよりひるに栄養価の高いものを与える。 4 食生活改善について	正月料理実習 一安価で栄養があり手軽に出来るもの一 ○むらくもかん ○いわしの昆布まき	二十一名	デモンストレーションによる指導

十月二十五日

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○いわしのかす汁		

熊本婦人少年室関係

八月一日	健康診断 レントゲン　ツベルクリン 血圧　検便	三十四名	市保健所より保員が出張して検診
八月十七日	検便の結果要注意者があったので再検したが結果は療養の必要を要するものはなかった。	四名	
九月十一日	主婦懇談会 社宅主婦代表	三名	この懇談会はNHKより婦人の時間に放送さ

		従来まで指導された事を基礎として古い封建的な殻から脱皮して新しい人間関係を作って行きたい。		れた
九月二十日	綿入の講習 団綿火・夜具部主任を招き綿入の講習を行った		三十名	講師 団綿夜具仕立部主任
十月二十日	家庭電機の知識について 電化ブームの昨今　家庭の主婦も是非電気に対する知識を知っておく必要上から九州電力より係官来社されて指導をうける。		十五名	九州電力火・火 係官

大分婦人少年室関係

七月八日	講義実習及び協議会	計七十五名

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	一 料理実習 労働者家族のための一日の献立 おべんとうのおかず 二 モデル地区の生活技術指導の運営について	金山地区主婦 五十名 各支部役員 二十名 関係者 五名	
八月十一日	講義及び実習 食欲をそゝる油料理（夏における） 四項目八種類 実物展示による指導	計五十八名 金山地区主婦 五十名 関係者 八名	
九月九日	くらしの工夫懇談会 前三回の家計簿指導の成果を反省 ○家計簿はつけ通されたでしようか。 ○予算生活は行われたでしようか	計五十名 金山地区主婦 三十名 各地区役員 十五名	

	○決算はなされたでしようか ○今後家計簿記入に対する心構え	関係者 五名	
十月五日	講義及び実習 ○季節料理実習 ○盛付、料理の応用についての話 ○試食および懇談	計五十五名 金山地区主婦 三十六名 各地区役員 十三名 関係者 六名	
十二月十四日	講義及び実習 ○正月料理の実習 ○家計簿の反省 ○来年のモデル地区の運営と家政グループの結成について	計六十八名 金山地区主婦 四十名 各地区役員 二十名 関係者 八名	

宮崎婦人少年室関係

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
七月十日	○子供の教育　しつけに関すること 新しい親子関係 質疑応答	七名	角田ハマ （児童相談所長）
九月十八日	○衣生活に関すること せんいと洗剤 漂白 のりつけ アイロンかけ 防虫防湿 簡易クリーニング	七名	

鹿児島婦人少年室関係

五月二十八日	料理実習 —安くて手早くできる栄養料理— (1) 奥の丸揚あんかけ　(2) 中華風サラダ (3) 袋づめしのだ煮	五十二名	
六月三十日	座談会 (1) 前回の料理実習の反省、批評、今後の希望について (2) 「安全週間によせて」 職場安全、家庭安全	四十三名	
七月二十三日	リクリエーション 盆踊り「南国土佐節」他	四十三名	講師 薩摩フォークダンス 顧問　永田萌子氏
九月三十日	座談会	二十一名	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	団地の問題について（前回休講した育児の問題　子供のしつけの問題も含む）		
十月二十二日	料理実習 ノ　季節のものを使っての栄養料理 (1)豆腐の内詰　(2)白菜と豚のスープ (3)サンマのムニエル　(4)炸菊花餅	六十六名	
十一月二十四日	料理実習 ―キッチンカーによる― (1)酢豚　(2)白菜丸子揚 (3)菓なます　(4)パンプティング	六十六名	
十二月十八日	座談会 「生活技術指導」に対する感想	八名	